

平成27年度



赤木っ子だより

平成27年10月20日 No.20 文責 校長 橋本忠秋

《教育目標》

『豊かな心と自ら学ぶ力をそ
なえた、たくましい児童の育成』
あ 明るく元気な子ども
か 考えて行動する子ども
ぎ 気力ある子ども



授業参観

—研究をとおしてよりよい授業を目指しています—

子ども達の学力(思考力・判断力・表現力、知識・理解力等)を向上させるために、学級・学年等で授業案を検討し、普段の授業をベースに創意工夫を盛り込んだ授業を計画して校内で公開し合います。その授業について、放課後に教員が集まり、事後研究会(話し合い)を開いて協議します。

事後研究会の順序と主な内容は、「授業者の自評」、次に2～3グループに別れて「テーマに迫るための手立て等についてワークショップ」を行います。これをもとに全体の協議を行って成果や課題を共有し、最後に指導があります。

これを繰り返しながら授業力を高め、学校全体でよりよい授業を実現していきます。



事後研究会

—持久走記録会始まる—

持久走記録会が、19日(月)から始まりました。最初に記録会に臨んだのは4年生の子ども達です。ずっと練習に取り組んできた子ども達にとって、本番は練習と違った特別な意味があります。

プレッシャーに打ち勝って走り抜き、自分の持てる力を最大限まで出し切り、自己ベストを出そうと挑戦する姿はとて応援していて胸を打たれました。これからも、1時間1時間を大切にしながら最善を尽くし、自分自身が「頑張ったよ。」と言えるようなときを送ってほしいです。



—ジュニア誌上川柳大会表彰式—

17日(土)、大島地域公民館で「第16回ジュニア誌上川柳大会表彰式」がありました。本校から4年生を中心に出品が多数あり、4年の菊池さんが郡山市川柳協会会長賞を受賞しました。

受賞作品 『そうじきで 暗い気持ちを すいとうろう』

なお、多くの子ども達がよい作品を出品しましたので、学校賞をいただくことができました。



外気温が下がってきたために、登校時に両手をポケットに入れて歩く姿を見かけるようになりました。その都度、声をかけていますが、徹底できません。大事な頭や顔を守るために、手を出して歩けるように手袋などを準備してあげてください。大けがをする前によくお願いします。

一福島県PTA研究大会二本松大会に参加一

10月11日(日)に二本松市総合体育館を会場に開催されました第63回福島県PTA研究大会二本松大会に本校PTAを代表して、渡邊副会長が参加して来ました。

大会主題の「ほんとの空とともに よみがえる大地 子どもたちに明るい未来を～親子の絆 地域の絆 ふくしまのいまそしてこれからを～」をもとに、午前中は4分科会に別れて協議を行い、午後から全体会と記念講演がありました。また、全体会の中で大会宣言があり、全参加者の賛同を得ました。



大会宣言

わたくしたちは、「ほんとの空とともに よみがえる大地子どもたちに明るい未来を～親子の絆 地域の絆 ふくしまのいま そしてこれからを～」の大会主題のもと、安達太良山がそびえ、ほんとの空が見える二本松で、県内各地より会員及び関係者1,400余名の参加を得て、第63回福島県PTA研究大会二本松大会を開催いたしました。

現在、子どもたちを取り巻く環境は目まぐるしく変化しております。虐待やいじめ、ネット環境による犯罪など様々な問題が子どもたちの心身を脅かしております。また、福島県は東日本大震災・原発事故により甚大な被害を受けました。復興事業は加速度的に進んではいませんが放射線などで子どもたちは依然厳しい環境下におかれています。

今回の研究大会では学校教育だけでなく様々な広い視点から「子どもたちの明るい未来」のために「大人が今できること」を考え、PTAとして、または地域社会として、または福島県の人間として未来ある子どもたちのために具体的に実践することの大切さを学ぶことができました。

私たちは 学校だけでなく家庭や地域とともに困難な時代を乗り越え、福島のことどもたちが安心して暮らしていける安全な社会の構築に向けて次のことを決議いたします。

大会決議

- 一 わたくしたちは、すべての会員の意識の向上とPTA活動の活性化を図るため、会員相互が力を合わせ、関係諸機関や団体と積極的に連携したPTA活動を推進します。
- 一 わたくしたちは、社会の変化や要望に対応できるよう、絶えず自己の研修に励み、子どもたちと共に伸びゆくPTA活動を推進します。
- 一 わたくしたちは、子どもたちが将来自分の夢を実現できる、健康な心と体をはぐくむPTA活動を推進します。
- 一 わたくしたちは、子どもたちを取り巻く多くの問題に対して理解を深め、子どもたちの健全育成や非行防止に努めるとともに、安全確保のために、家庭・地域・学校が連携したPTA活動を推進します。
- 一 わたくしたちは、特別な支援を必要としている子どもたちの理解を深め、共に生きる社会の実現を図るとともに、子どもたちの豊かな心をはぐくむためのPTA活動を推進します。

平成27年10月11日

第63回福島県PTA研究大会二本松大会